

発行所 田代町公民館
電話 19番
発行責任者 小川 兵一
編集責任者 久保 幸雄
・ 鹿屋市共栄町
新生社印刷所電 2238

田代町公民館長 小川 兵一

柔道を習う者が技を練ることのみで、心の修練を怠れば、ヤクザを育てて結果しか生れない事は、数多い事実が之を証明しています。柔剣道のねらいは、技と心を修練してより高い人格をつくり上げんがためでありまゝです。

最も日本が都市経済は世界中に其の例がない程すばらしい成長率を示していると言われるのですから、都市地域の犯罪は著しく減少すべきですが、事実とは全く逆です。輕濟的に貧しい農村にかえつて犯罪が少なく、經濟的に豊かな都市に、有史以来最高を示す程犯罪が激増している事実を見ても、衣食足つて礼節を知ると言えるでしやうか。

更に一つ言ふと、都市から放蕩息子とは、貧困家庭からではなく、親が財力に物言はして、他人の迷惑等考えず、したい放題して来た、道徳的家庭教育基盤のない富裕家庭と相場はきまつています。

今日經濟力のある都市に犯罪が激増し、中流以上の家庭に非行青少年が増加している動かし難い事實は、人々が余りにも物質欲に血眼になり、道徳の背骨を失つてしまつてゐるに過ぎない。

便りと
かたい
ご寄付



みんなど口を揃えて言つておられまう。

人々が心に榮養を取り豊かな心をつくつてこそ、家庭も世の中も、いがみ合いがなくなり真の明るさが避えるのだと言う事の原理が誰にでも解る講習です。

今年度は七月の二十四、五、六の二泊三日間、田代小学校講堂に於て、東京から三名の先生方においでを

人は皆歓迎いたします。

昨年の結果が予想以上に良かった為に、今年は受講者も相当増加する見込みです。既に大根占町からも田代の講習には是非参加されてもらいたいと申込みが来ている程ですので、今年は更に意義深い講習会となることとしよう。皆さん来月の

昨年の明るい社会建設講習会風景2泊3日の講習に
 於ける最後の話し合いで自分の体験談を語り乍ら腹
 の底からよろこぶ会員の皆さん

民生課設置に伴い

役場行政機構一部改めらる

国民健康保険法に基き全国三月の議会において課等設置各市町村に昭和三十六年四月議案の一部改正を議会に提出議決を経たので三十一年度から新しく民生課を開始に伴い全般的に事務が設置し左記の通り一部機構を改める。

「ぼくの父はシヨウチユウ好きである。相手があれば昼間からでも飲む。そして大きいドラ声をはり上げてナンコをする。宿題などやらなければならぬときではほんとにはがいくる。どこまでも聞えるドラ声をはり上げておかしきものもあるのか……」。これは或る中学生の作文の一節である

になる前までに、「田代は村づくり運動がよくなされ社会教育が徹底している」と聞かされ、それへの期待の心をはずませて来た。着るほど、しつとりと落ち着る環境の中に平和なまともなまりがある。広報活動も徹底している。但し、もうひ

「経済と道徳」は恰も柔剣
道に於ける技と心のよう
なもので、之を共に高めな
ければ人間生活を高める力と
はならないのです。

「衣食足つて礼節を知る
」だ、道徳教育等しなくて
も、経済力さえ高めれば、
自から道徳心は生ずるの
だと尤もし言う人があり
ますが、道徳の種子も蒔か
ずに生えるはずはありません。

考えたいた事は、近年
般登りに増加している青少
年の犯罪であります。色々
な統計資料を御覧になる方
はお解りの通り、非行青少
年の大半は貧困家庭からで
はなく、中流以上の家庭か
ら出ているのです。

此の冷徹なる事実を見て
も「衣食足つて礼節を知る
」と手をこまねいて放任し
ておいて良いものでしよう
か。衣食足つて礼節を知る
な講習も受けて来ましたが

道徳の種子も蒔かねば生
えません。戦後十六、七年
も経た今日、もうそろそろ
敗戦の悪夢から覚めて、道
徳の種子蒔もして良い時期
だと思ひます。

その意味で昨年我が町で
初めて開催しました「町で
い社会建設講習会」は実に効
果的な講習会でした。私も
世間を放浪して歩き、色々
な講習も受けて来ましたが

去る五月十五日、次に掲
るお便りに、公民館建設
金（一金貳千円也）を添
て町公民館宛に御送りい
できました。


筆者は、この寄付金は公
民者による、伏してお
てくれとの要望でありま
したが、この嬉しい事は、

公民館職員だけでなく、二
人でも多くの町民に知つて
もらいたいという事で、あ
えてこゝに公表させていただきます。
つたものであります。

紙上をもつて、厚くお礼
申し上げますと共に、無礼
の点は、伏してお許しの程
度お願い申し上げます。

ご寄付

ありがとうございました



町に郷愁を覚えます。「ふる
 の」と海山へだてて幾百里
 田代には父母の墳墓があ
 り、姉妹が住み、お名染の
 力も沢山ありますので、一
 日として忘れられません
 待望久しく南開の山村田
 代も愈々町制実施となり、
 ほんとにおめでとうござい
 ます。私達出郷者も心から
 お喜びが申し上げます。町と
 町でえんだか急に町野が
 時、私、町出身者の一員
 として大変心強く思います
 ことでは、戦後かと思はれ
 閑に附せられがちな公民教
 育に、田代町がいち早く着
 限され、その業績は他の模
 範とするに足るとお聞きす
 るとき、ほんとにたのもし
 く思います。こうした無形
 の難かしいお仕事に、日夜
 御努力くださる方々の御苦
 労は並々ならぬものとお察
 しいたし、深く感謝の意を
 捧げます。現代の世想は、

[illegible]

「田代は飲むところですか。飲めぬもせん、ナンコもできぬじや、話になりませんよ」。本町に来任した当座、或る人からユモラジヤに聞かされ「そうですか、じや、きたれてもらひませんじや」。に座興として談文に接するおるが、前記作文に接するおるが、卒然戦したる思いに迫ひこまれた。戦はたし、酒飲め、ナンコ戦の排斥論者ではない。「ダレヤメ」むしろあつて「だれも」より。ただし、それがない、無理になり、過剰になり、子どもの精神面を

このたび町婦人会員が一致団結して、一年がかりで公民館建設資金を集め、町公民館に届けられました。これは昨年度の事業の一環として実施されたもので、婦人会員一人当たり、ボロの二貫目を出し合つて積みたてられたもので、会員一人一人の心のこもつた浄財であります。紙上をもつて婦人会員の皆様にも厚くお礼申し上げますと共に、今後とも各方面より一層の御協力をお願い申し上げます。

健康にてそれぞれのお仕事に御精励のことと拝察申し上げまして、さうして皆様方にお便りを差上げる私は、元根占町横別府に生れ、二十代にして、或る希望を抱いて昭和二十年まで住んで戦災で類焼になり、家族七人が御地、郷原部落の袖山に縁故を辿つて参り、ここ数年間過しました。その間、田代の皆様方には一方ならぬお世話様になりました。

有形無形にひ益するところ
神はいろいろな面に於いて
は大きいと思います。町制
に於いて何かと御尽力くだ
さつた町当局を始め、関係
世界の皆様方の御苦勞を衷
心よりねぎらい厚くお礼申
上げます。

自由をはきちがえ、何事も
じ民主主義を身につけて、
感謝の奉仕の精神に欠け
た、感謝の念を忘れ、われよ
かがちの利己主義的にな
りようが有様ではとうてい住
みよい町や国は望まません

() 内は旧任	四月二十四日付	澤ノ谷サワ (新採用)
記	民生課國民健康保險係	田代 潮洋 (新採用)
三月二十日付	課長 松田進 (經濟課林業係)	永年本町農業振興のために
三月十五日付	課長 農政係 荻原 健一	貢獻していただきました農
三月十四日付	課長 經濟課耕地係	政係の徳水技手は去る五月
課長 林業係	上田 鉄朗 (新採用)	六日佐多町役場經濟課へ榮
		転されました。

でももあるまい。「田代の焼酎とナンコ」も悪習のそしりを受けないよう、今少しの脱皮する必要があるのではなからうか。「青少年の健全な育成」は、具体的に足もとから築くことだ

